

一般入学試験要項

一般入試では、受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています(ピアノ演奏家コース除く)。コースによって若干の違いがあるため、コース毎の表を見て選んでください。

◆出願資格

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者、及び2019年3月卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者、及び2019年3月修了見込みの者。
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2019年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

◆出願期間・試験期間・合格発表

A 日程	出願期間	2019年1月4日(金)～1月15日(火)	郵送のみ・消印有効
	試験期間	2019年1月30日(水)～2月1日(金)	
	合格発表	2019年2月5日(火)	本人宛発送
B 日程	出願期間	2019年1月17日(木)～2月12日(火)	郵送のみ・消印有効
	試験期間	2019年2月25日(月)	
	合格発表	2019年3月1日(金)	本人宛発送

A日程、B日程どちらの日程でも受験できます。

※A日程を受験する者で併せてB日程の受験を希望する者は、入学試験志願票の「受験日程」欄の「A日程」と「B日程」両方を「○」で囲んでください。これによりA日程を受験し不合格だった場合に、B日程の受験資格が与えられます。(なお、A日程受験者のB日程入学試験検定料は免除します。)

※ピアノ演奏家コースはA日程のみ。

コースの志望について

いずれのコースを第1志望とする場合でも、他のいずれかのコースを第2志望とすることができます(ピアノ演奏家コースのみ、第2志望は自動的にピアノコースとなります)。

その際、第1志望、第2志望のそれぞれの志望コースに課せられた試験科目をどちらも受験してください(ピアノ演奏家コースを除く)。

選考方法

実技試験、音楽理論、ソルフェージュ、面接に基づき、その総合評価により合格者の選考を行います。

	ソルフェージュ	音楽理論
ピアノ演奏家コース	新曲視唱 聴音書取…四声体、単旋律、二声旋律 (P.45例題参照)	主として楽典一般 (P.46～47例題参照)
ピアノコース 作曲・音楽クリエーションコース(A)	新曲視唱…調性は#、b、2つまで ※唱法は自由。 聴音書取…旋律2題、和声1題 調性は#、b、2つまで (P.48例題参照)	主として楽典一般 (P.49～50例題参照)
上記以外のコース	新曲視唱…調性は#、b、2つまで ※唱法は自由。 聴音書取…旋律2題 調性は#、b、2つまで (P.48例題参照)	主として楽典一般 (P.49～50例題参照)

【音楽理論とソルフェージュの受験について】

本学音楽講習会で「認定テスト(音楽理論、ソルフェージュ)」を受験し、認定の評価を受けている者は免除を希望することができます(ピアノ演奏家コースを除く)。一般入試での受験をしない場合、それぞれの科目について、「認定テスト」の評価(A・B・C)に応じて、A=80点、B=60点、C=40点が配点されます。

なお、「認定テスト」の認定をすでに受けており、一般入試での受験を希望する場合は、それぞれの科目について、より高い方の得点が配点されます。

各コース別一般入学試験 実技試験課題

すべての実技試験において演奏を途中で切る場合があります。

ピアノ演奏家コース（一般入試A日程、二次入試のみ実施。他コースのような試験方式の選択はありません。）

①実技 ※A、B、C全てを暗譜で演奏のこと。曲順は自由。

- A F. Chopin : Etudes op.10, op.25より任意の2曲。
 - B 古典派のソナタ（複数楽章も可）
 - C 自由曲（古典派以外の作品、ショパンのエチュードは含まない）
- ※B、Cの合計時間が14分以上であること。

②音楽理論*

③ソルフェージュ*

※ P.24 選考方法参照

④面接

ピアノコース

試験科目	試験方式※1	a	c
①専攻実技		300	500
②音楽理論		100	—
③ソルフェージュ		100	—
④面接		—	A・B・C評価
総合点		500	500

※1 試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～④のうち受験する科目・配点は異なる。

①実技

※すべて暗譜で演奏のこと。繰り返しはしない。

【課題曲Ⅰ】 下記の曲(1)～(8)より任意の1曲を各自が選択し、演奏する。

番号	曲 目	作 曲 者
(1)	50番練習曲 Op.740	Czerny
(2)	60番練習曲 Op.365	Czerny
(3)	60 Etudes	Cramer=Bülow
(4)	Gradus ad Parnassum (Tausig 編)	Clementi
(5)	24 Studies for the piano Op.70	Moscheles
(6)	15 Etudes Op.72	Moszkowski
(7)	12 Etudes Op.10	Chopin
(8)	12 Etudes Op.25	Chopin

※(7) Op.10 No.6 (8) Op.25 No.7を除く。

【課題曲Ⅱ】 任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※上記課題曲Ⅰの(1)～(8)は除く。自作曲は除く。

管楽コース

試験科目	試験方式※1	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科実技※2		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

※1 試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

※2 副科実技はピアノとする。

①実技

任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏する。

※伴奏はなし。楽譜は見てもよい。

- | | |
|---------------------------|------------|
| ■フルート | ■ホルン |
| ■オーボエ | ■トランペット |
| ■クラリネット | ■トロンボーン |
| ■バス・クラリネット | ■バス・トロンボーン |
| ■ファゴット | ■ユーフォニアム |
| ■サクソフォーン（ソプラノ、テナー、バリトンも可） | ■テューバ |

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

弦楽コース

試験科目	試験方式※1	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科実技※2		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

※1 試験方式を受験者が選択し、出願してください。試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

※2 副科実技はピアノとする。

①実技

※伴奏はなし。

■ヴァイオリン ※いずれも暗譜で演奏のこと。

(1) C. Flesh : Scale System より C dur No.5を冒頭から9小節まで演奏する。

- ・テンポ♩=69前後で演奏すること。
- ・ボウイングとフィンガリングは譜面どおり。
- ・Carl Fischer 版もしくは Ries & Erler / Berlin 版を使用すること。

(2) 任意の独奏曲1曲を演奏する。

- ・エチュード、自作曲は除く。

■ヴィオラ ※楽譜は見てもよい。

(1) 音階：譜例（P.44）のとおり音階を演奏する。

- ・任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲1曲を演奏する。

■チェロ ※楽譜は見てもよい。

(1) 音階：譜例（P.44）のとおり音階を演奏する。

- ・任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲1曲を演奏する。

■コントラバス ※楽譜は見てもよい。

(1) 音階：譜例（P.44）に従い、ホ長調、ヘ長調、ト長調より当日、本学が指定する音階を1つ演奏する。

- ・譜例のリズム型で演奏し、2オクターブ演奏すること。任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲1曲を演奏する。

■ハーブ ※いずれも暗譜で演奏のこと。繰り返しはしないこと。

(1) N. Ch. Bochsa の練習曲より任意の1曲を演奏する。

- ・Alphonse Leduc 社出版の楽譜を用いること。

(2) 任意の独奏曲1曲を演奏する。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

打楽コース

試験科目	試験方式※1			
	a	b	c	d
①専攻実技	300	200	500	300
②副科実技※2	—	100	—	200
③音楽理論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点	500	500	500	500

※1 試験方式を受験者が選択し、出願してください。試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

※2 副科実技はピアノとする。

①実技

※伴奏はなし。

■マリンバ ※いずれも暗譜で演奏のこと。

(1) Morris Goldenberg : Modern School for Xylophone. Marimba. Vibraphone (チャペル版) I、II、III、VII、XIIより任意の1曲を各自が選択し、演奏する。

(2) 任意の独奏曲1曲を演奏する。

■小太鼓 ※楽譜は見てもよい。

(1) 1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち、7つ打ち、9つ打ちより、当日、本学が指定する。

(2) 任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏する。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

邦楽コース

試験科目	試験方式※1			
	a	b	c	d
①専攻実技	300	200	500	300
②副科実技※2	—	100	—	200
③音楽理論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点	500	500	500	500

※1 試験方式を受験者が選択し、出願してください。試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

※2 副科実技は専攻実技以外の任意楽器演奏とする。

①実技

■箏 唄を伴う任意の1曲を暗譜で演奏する。

■三味線 (長唄三味線)

(1) 三代目 杵屋正治郎作曲「娘道成寺」(新合方)を暗譜で演奏する。

(2) 任意の1曲を演奏する。※楽譜は見てもよい。

■尺八 一尺八寸管(D管)を使用のこと。流派は問わない。※楽譜は見てもよい。

(1) 諸井誠「竹籟五章」より第一章(芬陀)を演奏する。

(2) 任意の独奏曲を2分程度演奏する。

②任意楽器演奏

任意の独奏曲1曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。(本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。)

※楽譜は見てもよい。

声楽コース

試験科目	試験方式 ^{※1}	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科実技 ^{※2}		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

※1 試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

※2 副科実技はピアノとする。

①実技

任意の声楽曲2曲を演奏する。

※暗譜で歌うこと。

- ・原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。(例：歌劇「連隊の娘」をイタリア語で歌うなど)
- ・アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。(例：歌劇「セヴィリアの理髪師」から「今の歌声は」をへ長調で歌うなど)

(注) ピアノ伴奏譜 (P.5の⑨参照) を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

舞踊・演劇・ミュージカルコース

試験科目	試験方式 ^{※1}	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科実技 ^{※2}		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

※1 試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

※2 副科実技は任意楽器演奏とする。

①実技

次のいずれか1つを選び、受験すること。

■ジャズダンス 3分程度の曲を踊る。

- (1) 音楽 (CD) は各自で用意すること。
- (2) 服装：レオタード、タイツ、ダンスシューズを着用すること。

■バレエ クラシックバレエからヴァリエーション (3分程度) を踊る。

- (1) 音楽 (CD) は各自で用意すること。
- (2) 服装：レオタード、タイツ、バレエシューズを着用すること。

■コンテンポラリーダンス (現代舞踊)

5～6分程度の自由曲を踊る。

テーマ：「私の夢」

- (1) 音楽 (CD) は各自で用意すること。
- (2) 服装：レオタード、タイツを着用すること。

■日本舞踊 当日、試験官の指示に従い、5分程度踊る。

・服装：浴衣、半巾帯、足袋を着用すること。

■演技 5分以内の自由演技を行う。(例：パントマイム、任意の台本等を読む、その他自由演技)

・服装：自由。

■歌唱 3分程度の自由曲1曲を演奏する。※暗譜で歌うこと。

(歌曲、オペラまたはオラトリオのアリア、オペレッタ、ミュージカルのソロ曲、その他)

(注) ピアノ伴奏譜 (P.5の⑨参照) を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

②任意楽器演奏

任意の独奏曲1曲を演奏すること。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。(本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。)

※楽譜は見てもよい。

作曲・音楽クリエイションコース

試験科目	試験方式 ^{※1}	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科実技 ^{※2}		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

※1 試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

※2 副科実技は「A:副科ピアノ、B:任意楽器演奏」とする。

下記のAまたはBより選択して受験する。

A

①実技

(1) 編成の違う自作品の楽譜(コピー可)を2曲提出する。

- ・出願書類に同封のこと。
- ・提出された楽譜は返却しない。

(2) 口頭試問

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

B

①実技

(1) 出願時にコンピュータまたはシンセサイザー等により本人が制作した楽曲をオーディオCDで提出する。

- ・出願書類に同封のこと。
- ・曲はオリジナル、編曲いずれでもよい。
- ・曲の長さは7分以内とする。
- ・提出作品には受験者の氏名、曲名を、編曲の場合は原曲の曲名、作曲者名も明記すること。

(2) 口頭試問

②任意楽器演奏

任意の独奏曲1曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。(本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。)

※楽譜は見てもよい。

電子オルガンコース

試験科目	試験方式※1	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科実技※2		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

※1 試験方式を受験者が選択し、出願してください。試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

※2 副科実技はピアノとする。

①実技

ヤマハエレクトーン演奏グレード5級以上の楽曲、または、自作・自編の楽曲を1曲演奏する。

※暗譜で演奏のこと。

参考曲集例 新エレクトーン・レパートリー 5級 Vol.1～Vol.3

- ・試験場での使用機種は、YAMAHA ELS-02C, ELS-02X (バイタライズ), EL-900m, Roland AT-80S。
- ・レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないので、あらかじめUSBフラッシュメモリー、フロッピーディスクなどで用意すること。
- ・MDRの使用範囲は、演奏データを含まないものとする。

ヤマハ音楽能力検定制度 エレクトーン演奏グレード5級取得者は実技試験が免除されます。

※上記のグレード5級取得者は、出願時に合格証書のコピー（P.5の①参照）を同封してください。（実技試験の免除を希望する場合のみ）

※実技試験が免除された者は、特待生試験の受験対象外となります。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

- ・クラシックに限る。出版されている曲のみ。

ジャズ・ポピュラーコース

試験科目	試験方式 ^{※1}	a	b	c	d
①専攻実技		300	200	500	300
②副科実技 ^{※2}		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

- ※1 試験方式を受験者が選択し、出願してください。試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 副科実技は専攻実技以外の任意楽器演奏とする。

①実技

- ピアノ
- ドラム
- ベース（アコースティック・エレクトリックを問わない）
- ギター（アコースティック・エレクトリックを問わない）
- サクソフォーン（ソプラノ・アルト・テナー・バリトンを問わない）
- トランペット
- トロンボーン

下記の(1)または(2)を選択し、演奏する。

- (1) 任意の1曲をマイナスイン音源を使用し演奏する。
※マイナスイン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。
- (2) Moritat（Bertolt Brecht / Kurt Weill）を演奏する。
※楽譜および音源は、本学に請求してください。
請求先：名古屋音楽大学 入試・広報センター（フリーダイヤル0120-115-796）

■ヴォーカル

任意の1曲を演奏する。

- (1) 演奏形態は次から選び、曲目記入欄に記すこと。【マイナスイン音源（CD）、アカペラ、弾き歌い】
- (2) マイナスイン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

②任意楽器演奏

任意の独奏曲1曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。（本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。）楽譜は見てもよい。

音楽教育コース

試験科目	試験方式 ^{※1}	a	b	c	d
①実技 ^{※2}		300	200	500	300
②副科実技 ^{※3}		—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

- ※1 試験方式を受験者が選択し、出願してください。試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 実技は任意楽器演奏（声楽含む）とする。ただしb、dの実技はピアノ以外とする。
- ※3 副科実技はピアノとする。

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

- ※楽譜は見てもよい。
- ・声楽で受験する場合、ピアノ伴奏譜（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。
 - ・伴奏者同伴の必要はなし。
 - ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

音楽療法コース

試験科目	試験方式 ^{※1}	a	b	c	d
①実技	技 ^{※2}	300	200	500	300
②副科実技	技 ^{※3}	—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

- ※1 試験方式を受験者が選択し、出願してください。試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 実技は任意楽器演奏(声楽含む)とする。ただしb、dの実技はピアノ以外とする。
- ※3 副科実技はピアノとする。

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏(唱)曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。

- ・声楽で受験する場合、ピアノ伴奏譜(P.5の⑨参照)を願書に添えて提出すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

音楽総合コース

試験科目	試験方式 ^{※1}	a	b	c	d
①実技	技 ^{※2}	300	200	500	300
②副科実技	技 ^{※3}	—	100	—	200
③音楽理論		100	100	—	—
④ソルフェージュ		100	100	—	—
⑤面接		—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

- ※1 試験方式を受験者が選択し、出願してください。試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 実技は任意楽器演奏(声楽含む)とする。ただしb、dの実技はピアノ以外とする。
- ※3 副科実技はピアノとする。

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏(唱)曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。

- ・声楽で受験する場合、ピアノ伴奏譜(P.5の⑨参照)を願書に添えて提出すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

音楽ビジネスコース

試験科目	試験方式※1	a	b	c	d
①作	文	300	200	500	300
②副	科実技※2	—	100	—	200
③音	楽理論	100	100	—	—
④ソ	ルフエージュ	100	100	—	—
⑤面	接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総合点		500	500	500	500

※1 試験方式を受験者が選択し、出願してください。試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

※2 副科実技は任意楽器演奏とする。

①作文

800字程度（P.51例題参照）。

試験時間は90分。

②任意楽器演奏

任意の独奏曲1曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。（本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。）

※楽譜は見てもよい。